

授業科目

臨床血液学I

| | | | | |
|----------------|------|----|-------|----|
| 担当教員名 大山 富三 | 対象学年 | 3 | 対象学科 | 臨床 |
| | 開講時期 | 前期 | 必修・選択 | 必修 |
| | 単位数 | 2 | 時間数 | 30 |

ディプロマポリシーとの関連性

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|-------|-------|-------|----|-------|
| ◎ | ○ | | | |

授業の概要

血液疾患を診断する血液検査学を理解するうえで必要となる基礎知識として、血球の産生と崩壊、形態、機能や凝固止血機構、凝固・線溶系の機序について学習する。

授業の目的

1. 血液疾患とその検査に必要な正常状態における血液成分の産生、形態、機能について理解する。
2. 凝固止血機構とその検査に必要な血小板、凝固・線溶系について、産生、仕組みと働きについて理解する。
3. 臨床検査技師国家試験に合格するために基礎知識を身につける。
4. 臨床検査技師として血液学の検査に関わるために知識を修得する。

学習目標

1. 血液の概要を説明できる。
2. 血液細胞の分化、成熟、崩壊に至る造血過程について説明できる。
3. 血液細胞の生体内での機能について説明できる。
4. 血液細胞の形態について説明できる。
5. 止血機構について説明できる。
6. 凝固線溶系の仕組みについて説明できる。

授業計画

| 回数 | 授業計画・学習の主題 | 学習方法・学習課題・備考 | 担当教員 |
|----|------------------------|--------------|-------|
| 1 | 血液の概要 血液の成分と機能 | 講義 | 大山 富三 |
| 2 | 血球の種類と生成、分化、成熟、崩壊 | 講義 | 大山 富三 |
| 3 | 正常赤血球の形態と機能 | 講義 | 大山 富三 |
| 4 | 赤血球の分化・成熟と形態変化 | 講義 | 大山 富三 |
| 5 | ヘモグロビンの構造と代謝 | 講義 | 大山 富三 |
| 6 | 鉄の代謝、葉酸、V B12の代謝 | 講義 | 大山 富三 |
| 7 | 正常白血球の種類と形態 | 講義 | 大山 富三 |
| 8 | 正常白血球の機能 (1) | 講義 | 大山 富三 |
| 9 | 正常白血球の機能 (2) | 講義 | 大山 富三 |
| 10 | 正常白血球の分化、成熟過程と形態変化 (1) | 講義 | 大山 富三 |
| 11 | 正常白血球の分化、成熟過程と形態変化 (2) | 講義 | 大山 富三 |
| 12 | 出血と止血の仕組み、一次止血と二次止血 | 講義 | 大山 富三 |
| 13 | 凝固機序、凝固因子の種類 | 講義 | 大山 富三 |
| 14 | 線維素溶解の機序、凝固と線溶の関係 | 講義 | 大山 富三 |
| 15 | 凝固線溶系の制御機構 | 講義 | 大山 富三 |

使用図書

| 使用図書 | 書名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 | 価格 | その他 |
|------|-----------------|----------------|--------|-------|----------|-----|
| 教科書 | 最新臨床検査学講座 血液検査学 | 奈良 信雄 他 | 医歯薬出版 | 2016年 | 5,400円+税 | |
| | 血液細胞アトラス 第5版 | 三輪 史朗、渡辺 陽之輔 | 文光堂 | 2013年 | 9,000円+税 | |
| 参考書 | 病気がみえる Vol.5 血液 | 土屋 達行、松田 晃、伊豆津 | メディックメ | 2015 | 3,000円+ | |

| | | | | | | |
|--------|---------------|------|-----|---|---|--|
| | | 宏二 他 | ディア | 年 | 税 | |
| その他の資料 | ポータルサイト上の配布資料 | | | | | |

評価方法

講義内に実施するテスト結果と定期試験のテスト結果から評価する。
講義内テストを欠席した場合はそのテストを0点とする。

履修上の留意点

講義の内容は広範囲になるので予習、復習を必ずしておくこと。また、血球の形態観察も必要となるため参考書(アトラス)を活用すること。なお、臨床血液学IIを学ぶためにも本講義内容を十分理解することが必須となるため、不明な点は質問をするなど早期に解決すること。

オフィスアワー・連絡先

授業に関する質問がある場合には、希望する曜日・時限をtomizo-oyama@nuhw.ac.jpまで連絡してください。その後日程を調整したうえでN棟2階202合同研究室まで来てください。